



## 2019年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年8月3日

上場会社名 タカノ株式会社  
 コード番号 7885 URL <http://www.takano-net.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鷹野 準  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 大原 明夫

TEL 0265-85-3150

四半期報告書提出予定日 2018年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	5,742	22.8	251	108.4	309	100.4	267	205.2
2018年3月期第1四半期	4,674	2.7	120	51.9	154	28.2	87	34.9

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 217百万円 (20.8%) 2018年3月期第1四半期 179百万円 (299.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	17.58	
2018年3月期第1四半期	5.76	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第1四半期	36,616	28,457	77.7	1,872.68
2018年3月期	38,036	28,453	74.8	1,872.38

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 28,457百万円 2018年3月期 28,453百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		14.00	14.00
2019年3月期					
2019年3月期(予想)		0.00		16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,300	20.7	360	19.5	420	19.6	350	41.7	23.03
通期	24,800	14.3	1,440	29.6	1,490	23.2	1,080	21.9	71.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期1Q	15,721,000 株	2018年3月期	15,721,000 株
期末自己株式数	2019年3月期1Q	524,811 株	2018年3月期	524,811 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期1Q	15,196,189 株	2018年3月期1Q	15,196,189 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の見通しの前提となる条件および業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2018年4月1日から2018年6月30日）におけるわが国経済は、企業収益や雇用および所得環境の改善等を背景に景気は緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、米国の保護主義政策に端を発した中国との貿易摩擦が激化しており、今後さらに深刻化すれば世界経済の下振れが懸念される等、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような環境のもとで、当社グループは中期経営計画「Innovation 68」の達成に向け、計画の3年目にあたる当期は、計画の基本方針である「構造改革とプロセス改革を進め、稼ぐ力を取り戻し、次の成長路線を構築する」の実現を図るべく、各施策の確実な実行による事業構造・収益構造の変革への取組みを行ってまいりました。

具体的には、製品開発・販売活動、各種の事業提携活動、グローバル販売・グローバル調達体制の拡充に注力する一方、製造ラインへのロボットやIoTを活用したシステムの導入や間接部門を中心とした合理化プロジェクトの推進等、生産性向上および合理化のための活動を推進してまいりました。

この結果、主に検査計測機器事業および機械・工具の販売増加により、当第1四半期連結累計期間の売上高は5,742百万円で、前年同四半期比1,067百万円（22.8%）の増収となりました。

利益面につきましては、材料価格高騰の影響はあったものの、販売の拡大による粗利益額の増加により、営業利益251百万円（前年同四半期比130百万円、108.4%の増益）、経常利益309百万円（前年同四半期比155百万円、100.4%の増益）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益に投資有価証券売却益86百万円を計上したこと等により、267百万円（前年同四半期比179百万円、205.2%の増益）となりました。

【セグメント別の概況】

セグメント別の業績は次のとおりであります。

（単位：百万円）

	売上高（外部顧客への売上高）			セグメント利益または損失（△）		
	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減率	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減率
住生活関連機器	1,851	1,948	5.2%	△23	△52	－%
検査計測機器	1,773	2,514	41.8%	58	224	283.2%
産業機器	534	601	12.5%	75	57	△23.0%
エクステリア	252	198	△21.3%	6	△20	－%
機械・工具	263	479	82.1%	11	31	182.8%
報告セグメント計	4,674	5,742	22.8%	128	241	87.8%
セグメント間取引消去	－	－	－%	△7	10	－%
合計	4,674	5,742	22.8%	120	251	108.4%

（住生活関連機器）

当セグメントは、当社、連結子会社上海鷹野商貿有限公司で構成され、主にオフィス用、福祉・医療施設用の椅子等の製造販売を行っております。

当セグメントにつきましては、生産性向上や省人化に向けた活動、IoTを活用した製造工程の見える化に向けた活動に取り組んだ他、要素技術の高度化に向けた新規製造設備の導入を行ってまいりました。また、医療関連分野向け製品の営業体制拡充を図ってまいりました。

この結果、オフィスの竣工増加にともないオフィス家具需要が底堅く推移したこと等により、売上高は1,948百万円で前年同四半期比97百万円、5.2%の増収となりました。一方、利益面では積極的なコスト削減活動に努めたものの、前連結会計年度および当四半期中に行った設備投資にかかる減価償却費増加の影響等により、セグメント損失は52百万円（前年同四半期はセグメント損失23百万円）となりました。

## (検査計測機器)

当セグメントは、当社、連結子会社タカノ機械株式会社および台湾鷹野股份有限公司で構成され、主に液晶等の検査計測装置等を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、半導体関連検査装置分野の強化拡充に向けた活動に加え、中国・台湾市場向け液晶検査装置および自動車業界等の新用途市場向け検査装置の販売活動に注力してまいりました。また、製品の競争力向上を図るべく、高速・高精細な次世代光学センサーの開発と部材コストの低減を可能とする新検査手法の実機導入に取り組んでまいりました。

この結果、中国および台湾顧客向けの検査計測装置の販売増加等により、売上高は2,514百万円で前年同四半期比741百万円、41.8%の増収となりました。利益面では、販売の増加による粗利益額の増加に加え、設計の標準化等コストダウン活動を積極的に推し進めた結果、セグメント利益は224百万円で、前年同四半期比165百万円、283.2%の増益となりました。

## (産業機器)

当セグメントは、当社、連結子会社香港鷹野国際有限公司で構成され、主に電磁アクチュエータ・ユニット(ばね)製品等を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、国内および海外顧客に向けた積極的な営業提案活動、半導体関係分野向け電磁アクチュエータの販売拡大および新たなコア加工技術開発等に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は601百万円で前年同四半期比66百万円、12.5%の増収となりました。一方、利益面では前連結会計年度に行った設備投資にかかる減価償却費増加の影響等により、セグメント利益は57百万円で、前年同四半期比17百万円、23.0%の減益となりました。

## (エクステリア)

当セグメントは、当社が主に跳ね上げ式門扉、カーポート、テラス、オーニング、ガーデンファニチャー等のエクステリア製品を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、オーニング等の業務用途の物件受注に向け、新製品を中心とした広告宣伝活動や販売活動に注力するとともに、営業体制の拡充に取り組んでまいりました。

しかしながら、売上高は198百万円で前年同四半期比53百万円、21.3%の減収となりました。利益面では積極的な経費削減活動等に努めたものの、セグメント損失は20百万円(前年同四半期はセグメント利益6百万円)となりました。

## (機械・工具)

当セグメントは、株式会社ニッコーによる機械・工具等の仕入販売に関する事業であります。

当セグメントにつきましては、機械・工具の新規顧客開拓に向け、販売促進活動に注力してまいりました。この結果、機械・工具の販売増加等により、売上高は479百万円で前年同四半期比216百万円、82.1%の増収となりました。利益面では販売の増加による粗利益額の増加等により、セグメント利益は31百万円で、前年同四半期比20百万円、182.8%の増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は前連結会計年度末と比較し、1,658百万円減少の23,376百万円となりました。これは主に、前連結会計年度末にかけて販売を行った製品の代金回収が進んだことにより、受取手形及び売掛金が1,390百万円、主に当四半期中の検査計測装置等の販売増加により、仕掛品が395百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は前連結会計年度末と比較し、238百万円増加の13,239百万円となりました。これは主に、余裕資金の運用の増加により投資有価証券が352百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における総資産は36,616百万円となり、前連結会計年度末と比較し、1,419百万円減少いたしました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は前連結会計年度末と比較し、1,443百万円減少の6,983百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金と電子記録債務の合計額が763百万円減少したこと、当四半期中の賞与の支給により賞与引当金が272百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における負債合計は8,159百万円となり、前連結会計年度末と比較し、1,424百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は前連結会計年度末と比較し、4百万円増加の28,457百万円となりました。これは主に、軟調な株式相場によりその他有価証券評価差額金が33百万円、親会社による配当金の支払いにより利益剰余金が212百万円それぞれ減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益が267百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期第2四半期連結累計期間および通期の業績につきましては、現時点で、2018年5月8日に公表いたしました業績予想と変更はありません。

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであり、実際の業績は、今後発生する様々な要因によって予想値と異なる可能性がありますことをご承知おきください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,776,402	10,997,720
受取手形及び売掛金	8,361,910	6,971,180
有価証券	100,000	100,000
商品及び製品	775,131	902,258
仕掛品	3,731,113	3,335,935
原材料及び貯蔵品	856,991	868,220
その他	434,128	201,623
貸倒引当金	△473	△75
流動資産合計	25,035,204	23,376,864
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,850,712	2,821,419
機械装置及び運搬具(純額)	821,450	1,066,318
土地	4,250,044	4,250,044
その他(純額)	1,081,333	860,155
有形固定資産合計	9,003,540	8,997,936
無形固定資産		
のれん	124,053	117,286
その他	217,147	202,870
無形固定資産合計	341,200	320,157
投資その他の資産		
投資有価証券	2,617,596	2,970,156
その他	1,044,913	957,755
貸倒引当金	△6,048	△6,048
投資その他の資産合計	3,656,461	3,921,863
固定資産合計	13,001,202	13,239,958
資産合計	38,036,406	36,616,822

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,986,512	1,567,345
電子記録債務	2,759,614	2,415,232
未払法人税等	369,738	38,158
前受金	1,271,062	1,195,179
賞与引当金	452,237	179,897
役員賞与引当金	24,972	—
その他	1,562,974	1,588,065
流動負債合計	8,427,112	6,983,879
固定負債		
長期借入金	246,560	226,540
退職給付に係る負債	522,922	531,902
その他	386,756	416,898
固定負債合計	1,156,239	1,175,340
負債合計	9,583,351	8,159,220
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,015,900	2,015,900
資本剰余金	2,355,417	2,355,417
利益剰余金	23,875,275	23,929,625
自己株式	△272,477	△272,477
株主資本合計	27,974,115	28,028,465
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	423,584	390,174
為替換算調整勘定	61,773	44,286
退職給付に係る調整累計額	△6,417	△5,324
その他の包括利益累計額合計	478,939	429,137
純資産合計	28,453,055	28,457,602
負債純資産合計	38,036,406	36,616,822



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	4,674,968	5,742,489
売上原価	3,654,186	4,455,875
売上総利益	1,020,781	1,286,614
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	185,120	184,029
賞与引当金繰入額	49,593	53,448
退職給付費用	13,379	9,867
貸倒引当金繰入額	△17	△398
役員退職慰労引当金繰入額	60	—
研究開発費	202,723	187,634
その他	449,168	600,346
販売費及び一般管理費合計	900,027	1,034,927
営業利益	120,754	251,686
営業外収益		
受取利息	2,955	3,733
受取配当金	15,278	16,918
為替差益	830	22,693
その他	16,073	19,444
営業外収益合計	35,137	62,788
営業外費用		
支払利息	516	631
固定資産除売却損	437	3,036
その他	263	822
営業外費用合計	1,217	4,490
経常利益	154,674	309,984
特別利益		
投資有価証券売却益	—	86,577
特別利益合計	—	86,577
税金等調整前四半期純利益	154,674	396,561
法人税、住民税及び事業税	17,196	27,214
法人税等調整額	49,948	102,250
法人税等合計	67,145	129,465
四半期純利益	87,529	267,096
親会社株主に帰属する四半期純利益	87,529	267,096

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	87,529	267,096
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	95,115	△33,409
為替換算調整勘定	△3,643	△17,487
退職給付に係る調整額	878	1,093
その他の包括利益合計	92,349	△49,802
四半期包括利益	179,879	217,293
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	179,879	217,293
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	住生活関連 機器	検査計測 機器	産業機器	エクステ リア	機械・工具	
売上高						
外部顧客への売上高	1,851,398	1,773,506	534,357	252,154	263,551	4,674,968
セグメント間の内部売上高又は振替高	14,038	49,148	14,760	3,294	133,915	215,156
計	1,865,436	1,822,655	549,117	255,449	397,466	4,890,125
セグメント利益又は損失(△)	△23,400	58,553	75,252	6,811	11,156	128,373

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	128,373
セグメント間取引消去	△7,619
四半期連結損益計算書の営業利益	120,754

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	住生活関連 機器	検査計測 機器	産業機器	エクステ リア	機械・工具	
売上高						
外部顧客への売上高	1,948,416	2,514,732	601,022	198,440	479,876	5,742,489
セグメント間の内部売上高又は振替高	17,311	1,653	696	1,284	122,927	143,874
計	1,965,728	2,516,386	601,719	199,725	602,804	5,886,364
セグメント利益又は損失(△)	△52,482	224,369	57,952	△20,281	31,544	241,103

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	241,103
セグメント間取引消去	10,583
四半期連結損益計算書の営業利益	251,686

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。